

大学の連携による職種・レベル別に対応した臨床研究・治験の

e-learning システムを展開する研究について

所属：東京大学医学部附属病院 臨床疫学研究システム学講座

氏名：小出 大介

1. はじめに

国が「臨床研究・治験活性化 5 か年計画 2012」を発表し、その中で人材の育成が 1 つの課題とされた。そこで厚生労働省が平成 24 年度から 3 年間の科学研究費補助金による「臨床研究基盤整備推進研究」を公募した。公募内容は既存の臨床研究・治験に関する e-learning システムの問題点を抽出し、改良することにより、対象者の職種やレベルごとに教育プログラムを作成することとされた。その意義に共感して著者らが応募して採用され、本研究が実施された。

2. 目的と方法

体制は東京大学と自治医科大学との連携で、東京大学では「臨床研究方法論」の講義を提供したり、e-learning を導入して大きな成果をあげてきた。また PMDA からの出向者もメンバーに加わった。一方、自治医科大学は全国から学生が集まり、戻る特徴から、全国規模での展開に有利と考えた。そこで本研究の目的は「大学と地域病院が連携して、基幹病院だけでなく地域医療の現場でも臨床研究を推進するための新しい e-learning のシステムを構築すること」とした。

方法として初年度は既存のシステムの改良と資料収集等、翌年度は改良したシステムを大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）上に導入した。最終年度は導入した e-learning を評価した。

3. 成果と考察

システムは永続性が期待できるオープンソースの Moodle とし、さらに UMIN の ID があれば同じ ID とパスワードで受講できるようにした。なお UMIN の ID が無い人も Moodle 上で ID を発行して受講できる。

講義は医師、CRC など職種ごと初級と上級と数多く提供し、必修問題で全て 80%以上の正答率を得ると修了証も発行される。特に上級では 2016 年に新薬申請に必要な CDISC も加えるなど他にはない内容も提供している。動画の講義はあくまで参考として、初めから長い講義を見せることは避けた。システムの評価については概ね受講者に満足頂いている。

4. まとめ

大学が連携して全国どこからでも最新の臨床研究・治験について学べる e-learning を職種別・レベル別に構築でき、他にない内容も提供できた。今後は国際的認証も得られるシステムとする計画である。なお本 e-learning システムは以下のサイトから無料で利用できる。

<https://moodle2.umin.ac.jp/moodle/>

